



平成19年2月16日

原子力安全対策室

担当者 長谷川

内線 1880 直通 0952-25-7081

E-mail:

hasegawa-sadamu@pref.saga.lg.jp

玄海2号機余剰抽出系配管のひび割れに関する原因
と対策の報告を受けて、知事コメントを公表します。

本日、九州電力から、玄海2号機の余剰抽出系配管のひび割れは、高サイクル熱疲労によるものであり、今後、配管交換などの対策を行うという報告を受けました。

原子力安全・保安院によると、九州電力から報告されたひび割れの原因と今後の対策については妥当であるとのことであります。

その上で、原子力安全・保安院では、平成17年12月の同院の指示文書に基づき、九州電力が当該部の高サイクル熱疲労の評価を行うに当たり、平成13年の蒸気発生器の取り替えを適切に考慮していなかったこと等から、全ての原子力事業者に対し、注意喚起がされています。併せて、今回の事例を踏まえ、これまでの指示文書を見直し、高サイクル熱疲労割れに関する評価の実施などについて指示したと聞いています。

県としては、指導・監督責任を有している国において、原子力発電所の安全管理について、より厳正、厳格に対処していただくよう、改めて要請してまいります。

また、九州電力に対しては、なお一層安全管理の徹底に努めるよう強く要請したところです。